



出生届

令和 年 月 日 届出

埼玉県鴻巣市長 殿

受理 第	令和 年 月 日	号
書類調査	戸籍記載	記載調査
調査票	附 票	住民票
通 知		

(1) 生	子 の 氏 名 (外国人のときはローマ字を付記してください)	氏 名	父母との 続き柄	☐ 嫡 出 子 ☐ 嫡出でない子 (☐ 長 ☐ 男 ☐ 二 ☐ 女 ☐
(2) ま	生まれたとき	令和 年 月 日	☐ 午前 ☐ 午後	時 分
(3) れ	生まれたところ	番地 番 号		
(4) た	住 所 (住民登録をするところ)	番地 番 号		
(5) 生	父 母 の 氏 名 生 年 月 日 (子が生まれたときの年齢)	父 昭和 平成 年 月 日 (満 歳)	母 昭和 平成 年 月 日 (満 歳)	
(6) ま	本 籍 (外国人のときは国籍だけを書い てください)	番地 番		
(7) れ	同居を始めたとき	平成 令和 年 月	(結婚式をあげたとき、または、同居を始め たときのうち早いほうを書いてください) ☐ 結婚式もあげず 同居もしていない	
(8) の	子が生まれたときの世帯のおもな仕事と	☐ 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 ☐ 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 ☐ 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯 (日々または1年未満の契約の雇用者は5) ☐ 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) ☐ 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 ☐ 6. 仕事をしている者のいない世帯		
(9) 父と母	父 母 の 職 業	(国勢調査の年…令和7年4月1日から翌年3月31日までに子が生まれたときだけ書いてください)		
	父の職業	母の職業		
その他	子 の 父 また は 母 が、まだ 戸 籍 の 筆 頭 者 と な っ て い な い 場 合 は、新 し い 戸 籍 が つ く ら れ ま す の で、こ の 欄 に 希 望 す る 本 籍 を 書 い て く だ さ い。			
届	☐ 父 ☐ 母 ☐ 1. 母 ☐ 2. 法定代理人 () ☐ 3. 同居者 ☐ 4. 医師 ☐ 5. 助産師 ☐ 6. その他の立会者 ☐ 7. 公設所の長			
出	住 所 ☐ (4) 欄に同じ			
人	本 籍 ☐ (6) 欄に同じ			
	署 名 (※押印は任意)	印	昭和 平成 西暦 年 月 日生	

事 件 簿 番 号

連絡先	電話 ()	(父・母)方
-----	--------	--------

記入の注意

鉛筆や消せるボールペンで書かないでください。

子が生まれた日からかぞえて14日以内に提出してください。

子の名は、常用漢字、人名用漢字、カタカナ、ひらがなで書いてください。子が外国人のときは、原則カタカナで書くとともに、住民票の処理上必要ですから、ローマ字を付記してください。

☐には、あてはまるものに☒のようにしるしをつけてください。

子の父または母が、まだ戸籍の筆頭者となっていない場合は、新しい戸籍がつくれますので、この欄に希望する本籍を書いてください。

届け出られた事項は、人口動態調査にも用いられます。

※母子健康手帳をご持参ください。

出生証明書

子 の 氏 名	男女 の 別		1 男 2 女
生まれたとき	令和 年 月 日	午前 時 分 午後	
(10) 出生した ところ及び その種別	出生したところ の 種 別	1 病院 4 自宅	2 診療所 5 その他
	出生した と こ ろ	番地 番 号	
	(出生したところ の種別1～3) 施設の名称		
(11) 体重及び身長	体重 グラム	身長 センチメートル	
(12) 単胎・ 多胎の別	1 単胎 2 多胎 (子中第 子)		
(13) 母 の 氏 名	妊娠 週数	満 週 日	
(14) この母の出産 した子の数	出生子(この出生子及び出生後 死亡した子を含む) 死産児(妊娠満22週以後)		人 胎
(15) 1 医 師 2 助産師 3 その他	上記のとおり証明する。 令和 年 月 日 (住所) 番地 番 号 (氏名)		

記入の注意

夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。

体重及び身長は、立会者が医師又は助産師以外の者で、わからなければ書かなくてもかまいません。

この母の出産した子の数は、当該母又は家人などから聞いて書いてください。

この出生証明書の作成者の順序は、この出生の立会者が例えば医師・助産師ともに立ち会った場合には医師が書くように1、2、3の順序に従って書いてください。

